

当社グループは「サステナビリティ基本方針」のもと、持続可能な社会の実現へ向けた取り組みをより一層推進するための資金調達基盤を強化することを目的として、サステナブルファイナンスを活用しています。

グリーン・ボンド

本グリーンボンドの発行を含むグリーンファイナンス実施のために、「グリーンボンド原則（Green Bond Principles）2021年版」、「グリーンローン原則（Green Loan Principles）2021年版」、「グリーンボンドガイドライン 2020年版」及び「グリーンローン及びサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン（2020年版）」に則したグリーンファイナンス・フレームワークを策定しており、本フレームワークに則り資金の調達及び管理を行っています。

[グリーンファイナンス・フレームワーク](#)

サステナビリティ・リンク・ボンド

本サステナビリティ・リンク・ボンド発行のために、「サステナビリティ・ボンド原則（Sustainability Bond Principles）2020年版」、「サステナビリティ・リンク・ボンドガイドライン（2022年版）」に則したサステナビリティ・リンク・ボンドフレームワークを策定しており、本フレームワークに則り資金の調達及び管理を行っています。

[サステナビリティ・リンク・ボンド・フレームワーク](#)

中央日本土地建物グループ株式会社第3回無担保社債（社債間限定同順位特約付）（グリーンボンド）

概要

条件決定日	2021年9月15日
発行日	2021年9月22日
償還期限	2026年9月18日
発行総額	50億円
利率	0.290%
資金使途	グリーンビルディング適格資産（京橋エドグラン）の取得資金にかかるリファイナンス資金に充当予定
債券格付	A-（㈱日本格付研究所）

適合性に関する第三者評価等

[株式会社日本格付研究所による
グリーンファイナンス・フレームワークの評価結果](#)

京橋エドグランについて

京橋エリア最大級・国内最高クラスのスペックを誇る高さ約170m、1フロア約820坪の超高層オフィスなどから構成される、大規模複合ビルです。超高層ビルでは希少な免震構造を採用し、震度6程度の大地震においても主要機能を確保しています。災害や送電トラブル等による停電に備えた3回線受電方式を採用。非常時にはビル側非常用発電機から貸室への電源供給を可能とするほか、入居者様用の非常用発電機設置スペースも用意。施設内には防災備蓄倉庫を設け、災害時には、帰宅困難者支援拠点となります。



レポートニング

資金充当状況レポートニング

2021年10月29日に京橋エドグランの取得資金にかかるリファイナンス資金として、全額充当済。

インパクトレポートニング

京橋エドグランの環境認証：DBJ Green Building認証 5つ星（five stars）

日本政策投資銀行が、環境・社会への配慮が優れた不動産を認証する「DBJ Green Building認証」において、国内トップクラスの卓越した「環境・社会への配慮」がなされたビルとして認証されました。



京橋エドグランのパフォーマンスデータ

年度	2017	2018	2019	2020	2021	2022
エネルギー 使用量 (GJ)	38,811	47,844	49,425	44,558	44,077	44,479
CO ₂ 排出量 (t-CO ₂)	1,898	2,289	2,338	2,066	2,006	2,060
対前年増減量 (t-CO ₂)	-	391	49	▲272	▲60	54
原単位 (t-CO ₂ /㎡)	0.0430	0.0518	0.0529	0.0468	0.0454	0.0466
水使用量 (㎡)	150.0	171.3	180.0	138.7	136.7	145.8

中央日本土地建物グループ株式会社第7回無担保社債（社債間限定同順位特約付）（グリーンボンド）

概要

条件決定日	2023年8月8日
発行日	2023年8月15日
償還期限	2028年8月15日
発行総額	170億円
利率	0.909%
資金使途	グリーンビルディング適格資産（「田町駅前建替プロジェクト」にかかる設備資金に充当予定）
債券格付	A-（㈱日本格付研究所）

適合性に関する第三者評価等

[株式会社日本格付研究所による
グリーンファイナンス・フレームワークの評価結果](#)

田町駅前建替プロジェクトについて

中央日本土地建物と独立行政法人都市再生機構が区分所有する「春日ビル」（港区芝五丁目）を共同で建て替え、20階建て、延床面積約55,500㎡のオフィスビルを開発するものです。



都市の国際競争力強化に向け発展を続ける田町・三田エリアにふさわしい、快適な執務空間と環境に配慮した設備を備えたスマートビルとして、オフィス、店舗、インキュベーションオフィス「SENQ」、カンファレンスのほか、周辺地域に貢献する子育て支援施設も整備します。

レポートニング

資金充当状況レポートニング

2023年9月30日現在、本プロジェクトの着工前のため、資金未充当。

インパクトレポートニング

2023年9月30日現在、本プロジェクトの着工前のため、環境認証未取得。

田町駅前建替プロジェクトのパフォーマンスデータ

2023年9月30日現在、本プロジェクトの着工前のため、データ無し。

中央日本土地建物グループ株式会社第6回無担保社債（社債間限定同順位特約付）（サステナビリティ・リンク・ボンド）

概要

条件決定日	2023年2月10日
発行日	2023年2月16日
償還期限	2028年2月16日
発行総額	180億円
利率	1.000%
債券格付	A-（(株)日本格付研究所）

適合性に関する第三者評価等

[株式会社日本格付研究所による
サステナビリティ・リンク・ボンド・フレームワークの評価結果](#)

第三者機関による検証について

[株式会社日本格付研究所による第三者検証結果](#)

レポートニング

KPI・SPTsの進捗状況

KPI1：「2030年までに竣工する全ての新築オフィスビルにおいて ZEB 水準の環境性能を確保」について、2022年度は該当するオフィスビルの竣工なし。

KPI2：「2030年までに竣工する全ての新築オフィスビルにおいて環境認証を取得」について、2022年度は該当するオフィスビルの竣工なし。

SPT1-1：「2027年12月末までにZEB-Oriented以上の環境性能を確保した延床面積50千㎡以上の高層大規模オフィスビルを3棟竣工させる」について、対象となるオフィスビルの竣工に向けたプロジェクトを推進中。

SPT1-2：「SPT-1の対象物件のうち少なくとも1棟はZEB-Ready以上の環境性能を確保する」について、対象となる環境性能の確保に向けたプロジェクトを推進中。

SPT2：「2023年2月以降、竣工する全てのオフィスビルで環境認証を1つ以上取得する」について、環境認証の取得に向けたプロジェクトを推進中。

最新のサステナビリティ戦略に関する情報

当社グループサイト内、サステナビリティページをご参照ください。
[サステナビリティページ](#)